



## 施 策

## 5 教育の質を高める環境の充実

## 施策の柱

## (1) 教職員の資質向上

## 細施策

## ①主体的に自身の専門性を伸ばす研修の充実

## ■ 現状と課題

- 各教職員が必要な学びを主体的に行い、資質向上を図ることができるようにするため、「学校、児童生徒、地域、社会的状況によるニーズ」「国、県の調査、研究、計画等によるニーズ」「教職員のニーズ」を主に「専門研修※」の内容に反映させ、実施しています。
- 教職員の負担軽減の観点から研修の在り方や内容について引き続き検討する必要がありますが、研修の目的を達成することを念頭に置き、研修実施方法や研修形態を適切に設定し、教職員が主体的に研修に取り組めるようにします。

## ■ 細施策の方向性

## 担当課

## 教育センター・学校管理課

- 研修履歴の記録を活用し、教師が自らの学びを振り返るとともに、教師と管理職等が対話を行う中で必要な学びを主体的に行っていく「対話に基づく受講奨励」を推進します。
- 「対話に基づく受講奨励」に対応した研修体制の整備を図り、教職員の主体性や希望に基づき、専門的知識・技能の習得や、幅広い実践的指導力の向上を目指します。

## 細施策の指標

| 指標       | 説明                                                         | 現状値(令和6年度) | 目標値(令和12年度) |
|----------|------------------------------------------------------------|------------|-------------|
| 専門研修の達成度 | 専門研修において、実施後に受講者が研修目的を達成できたかを5段階で測定する。                     | 4.4        | 4.54.6      |
| 専門研修の成果  | <del>専門研修において、実施後に受講者が自身の目的に沿って研修内容に満足できたかを5段階で測定する。</del> | 4.4        | 4.5         |

※専門研修：教職員が目的意識をもって、主体的に希望して受講する研修。

## ②各キャリアステージに応じた研修の充実

### ■ 現状と課題

- 「埼玉県 校長及び教員としての資質向上に関する指標」を踏まえ、教職員が各キャリアステージにおいて求められる資質・能力を身に付けられるよう、各経験者研修※の内容の充実を図り、実施しています。
- 教職員が各キャリアステージにおいて求められる資質・能力を身に付けられるよう、引き続き研修内容・方法を工夫する必要があります。

### ■ 細施策の方向性

担当課

教育センター

- 国や県の指標を踏まえ、各教職員が各キャリアステージにおいて求められる資質・能力を身に付けられるよう、経験者研修の内容のより一層の充実を図ります。

### 細施策の指標

| 指標        | 説明                                      | 現状値(令和6年度) | 目標値(令和12年度) |
|-----------|-----------------------------------------|------------|-------------|
| 経験者研修の達成度 | 経験者研修において、実施後に受講者が研修目的を達成できたかを5段階で測定する。 | 4.4        | 4.5         |



初任者研修 開講式



中堅教諭等資質向上研修

※各経験者研修：教職員が経験段階に応じて受講する研修。

### ③喫緊の教育課題の解決に向けた研修の充実

#### ■ 現状と課題

- 本市の喫緊の教育課題の解決に向けた研修を「特定研修」とし、中でも「学力向上」「ICTの活用」「ふるさと学習」に関する研修を最重点として、継続して実施しています。
- 本市の喫緊の教育課題の解決に向けた研修を引き続き実施し、さらに充実・発展させるとともに、研修した内容が実際の教育活動にどの程度生かされているかを把握し、研修の効果を検証する必要があります。

#### ■ 細施策の方向性

#### 担当課

#### 教育センター

- 重点を置いて実施する研修を定める等、特定研修のより一層の充実を図り、本市の喫緊の教育課題の解決を目指します。
- 喫緊の教育課題の確実な解決のため、研修の効果測定方法を工夫し、効果的・機能的な研修体制の整備を進めます。

### 細施策の指標

| 指標          | 説明                                        | 現状値(令和6年度) | 目標値(令和12年度) |
|-------------|-------------------------------------------|------------|-------------|
| 特定研修の達成度    | 特定研修において、実施後に研修目的を受講者が達成できたかどうかを5段階で測定する。 | 4.3        | 4.5         |
| 最重点研修の効果(%) | 最重点研修において、3か月後に参加者が研修内容を活用・共有した割合(予定含む)   | -          | 100         |



川越 GIGA ポータルサイト（教職員用）



オンライン研修同時双方向型の様子

#### ④教職員の働き方改革の推進

##### ■ 現状と課題

- 統合型校務支援システムの機能を拡充するとともに、グループウェアを活用した調査等の回答方法の簡素化（回覧レポートやアンケート機能の積極的な活用）を図っています。
- 本市における教職員の時間外在校等時間※が県全体の平均値に比べ多く、改善していく必要があります。

##### ■ 細施策の方向性

##### 担当課

##### 学校管理課

- ~~国や県、市で求める調査報告等が多岐に渡るため、より効率化を図れるよう検討を進めます。~~こどもたちへのよりよい教育を実現するため、教育委員会において、「学校以外が担うべき業務」や「教師以外が積極的に参画すべき業務」について、具体的な計画を策定し、実行していきます。
- 教育委員会と学校とが教職員の負担軽減についてともに研究する場をつくり、学校における働き方改革を推進します。
- 教員と~~専門性を持つ多様な職員等が協働し、~~スクールカウンセラー※やスクールソーシャルワーカー※等専門性を持つ職員等がそれぞれの専門性を生かして、連携・協働することで、チームとしての組織体制を強化~~することとし、~~教職員一人ひとりの負担軽減を図ります。

#### 細施策の指標

| 指標             | 説明                                      | 現状値(令和6年度) | 目標値(令和12年度) |
|----------------|-----------------------------------------|------------|-------------|
| 時間外在校等時間の削減(%) | 勤務時間を除いた在校等時間数が、月45時間または年360時間以内の教職員の割合 | 31.5       | 100         |

※時間外在校等時間：公立学校教員が正規の勤務時間を超えて、学校教育活動に関する業務を行っている時間。

※スクールカウンセラー：学校に勤務し、児童生徒の心のケアや人間関係、学業、進路などの相談に応じる専門職。心理学の知識を活かして、個別面談や保護者・教員との連携を通じて、こどもたちの健やかな成長を支援する。

※スクールソーシャルワーカー：家庭や地域など学校外の環境に起因する問題に対応し、児童生徒が安心して学べるよう支援する専門職。福祉の視点から、保護者・教員・関係機関と連携し、生活面や社会的課題の解決を支援する。

## 施策の柱

### (2) 魅力ある市立川越高等学校づくりの推進

#### 細施策

##### ①市立川越高等学校の活性化・特色化の推進

###### ■ 現状と課題

- 各学科において、35人の少人数学級編成制を実施し、一人ひとりに指導が行き届く授業を展開しています。また、各学科の教育課程において、3年次に選択科目を設定し、様々な進路に対応できるようにしています。
- 魅力ある学校づくりを進めるために積極的に本市の教育に参画しようとする人材を確保し、質の高い教育を実践することが必要です。また、生徒一人ひとりの希望する進路に向けた確かな学力・技能等を培い、未来を切り拓くことのできる力を育むことが求められています。

###### ■ 細施策の方向性

###### 担当課

###### 学校管理課・市立川越高等学校

- 本市唯一の市立高校として、異校種や家庭・地域との連携を図りながら、時代の要請と市民の期待に応える魅力ある学校づくりを進めます。また、普通科と商業に関する学科の併置校としての特色を生かした教育活動の充実を図ります。
- 部活動の充実を図るために部活動外部指導者を導入し、実績のある部活動の活躍を通して、学校の魅力を一層高めます。また、生徒の個別支援に対するスクールカウンセラーを配置し、学校生活や進路選択に係る相談等、学校の教育相談活動の充実を図ります。
- 川越市主催のイベントなどで本校生徒会、及び部活動が地域貢献のために協力するとともに、多様な学びの機会を創出するため、市内企業、大学、関係機関との連携を推進します。

#### 細施策の指標

| 活動指標           | 説明                                    | 現状値(令和6年度)    | 令和12年度 |
|----------------|---------------------------------------|---------------|--------|
| 特色化推進に関する活動の状況 | 市内企業、大学、関係機関等と連携して多様な学びの機会となる学校行事を行う。 | 年間5回程度学校行事を企画 |        |



川越市百周年で作成した生徒の作品



オンラインによるイベントへの参加

変更案

市内企業、大学、関係機関等と連携した特色化推進に関する活動の状況。

5

年間5回程度市内企業、大学、関係機関等と連携した学校行事を企画し、多様な学びの機会創出を目指します。

## ②進路指導力向上のための教職員研修の充実

### ■ 現状と課題

- Society5.0（創造社会）、DX（デジタル革命）に対応した教育を実施するため、全ての教職員がICTを適切に活用できることを目標にしています。
- 現状、大学受験の選抜方法において総合型選抜※を活用する生徒は多いが、一般選抜で受験する生徒は一定数いるため、一般選抜に向けての対策と多様化する選抜方法への対応が求められています。

### ■ 細施策の方向性

担当課

学校管理課・市立川越高等学校

- ICT活用に関する研修、タブレット（iPad）利活用研修を実施し、Society5.0、DXに対応した教育を実践するため、多くの教員がICTを適切に活用できるように取り組みます。
- 主要5教科の教員を中心に大学進学予備校や民間教育機関の研修等に参加し、その成果を校内に普及させることで進学指導力の向上を目指します。
- 全国教員研修プラットフォーム（Plant）を活用し、各教職員の研修履歴を記録するとともに資質向上に関する指導助言等を行うなど、教職員の指導力の向上を図ります。

### 細施策の指標

| 活動指標       | 説明                          | 現状値(令和6年度)  | 令和12年度 |
|------------|-----------------------------|-------------|--------|
| 教職員研修の実施状況 | 進路指導力向上のために全教職員を対象とした研修を行う。 | 年間5回程度研修を企画 |        |



一人一台タブレット（iPad）



教職員研修

変更案

※総合型選抜：大学が求める学生像と受験生の個性や意欲を総合的に評価する入試。

進路指導力向上のための全教職員を対象とした研修の実施状況。

6

年間5回程度研修を実施し、教職員の指導力の向上を図ります。

### ③小学校・中学校・特別支援学校と市立川越高等学校連携の推進

#### ■ 現状と課題

- 小高連携、中高連携、高特連携など様々な企画を実施することで、異なる学校種の活動についての理解を深め、発達の段階に応じた体系的なキャリア教育の充実を図るとともに、学校種間の連携が円滑に進むようにしています。
- 市立川越高等学校の魅力を高めるためには、市立学校の児童・生徒に本校の取組を広く周知する必要があり、希望する市内の小学校・中学校・特別支援学校との校種間連携を進めることが重要です。

#### ■ 細施策の方向性

#### 担当課

#### 学校管理課・市立川越高等学校

- 教職員一人ひとりがキャリア教育の理解を深め、学校全体で系統的なキャリア教育を推進する意義を高めていきます。
- 市内小学生に対して、体操、パソコン教室、理科実験など小学生が楽しめる体験会、市内中学生に対して、オンラインで参加ができる生徒会の生徒による高校生活紹介、市内特別支援学校の生徒に対して、本校部活動生徒による合同でスポーツを行う体験会等、**を行います。**  
**校種間連携を推進します。**
- 管理職が市内中学校へ訪問し、中学生、または保護者を対象とした進路ガイダンス、学校説明会等の実施を推進します。

#### 細施策の指標

| 活動指標         | 説明                             | 現状値(令和6年度)      | 令和12年度 |
|--------------|--------------------------------|-----------------|--------|
| 学校連携に関する活動状況 | 市内小・中学校・特別支援学校と校種間連携としての企画を行う。 | 年間30校程度校種間連携を実施 |        |



小学生への体操教室



管理職による保護者対象学校説明会

#### 変更案

市内小・中学校・特別支援学校と校種間連携としての企画を実施した状況。

7

年間30校程度活動を実施し、校種間連携を推進します。

#### ④市立川越高等学校教育環境の整備・充実

##### ■ 現状と課題

- 本校は、建築から30年以上が経過しており、施設・設備の老朽化が進んでいます。そのため、施設・設備の維持・改修等の整備を計画的に推進する必要があります。
- 商業科目の学習のため、パソコン等のICT環境を整備しています。情報化社会に対応できる技術・能力を習得するため、時宜を得たICT環境の整備・充実を推進する必要があります。

##### ■ 細施策の方向性

担当課

市立川越高等学校

- 施設・設備面から教育力の維持・向上を図るため、安全で快適な教育環境の整備を計画的に推進していきます。
- 「情報活用能力の育成」や「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、時宜を得たICT環境の整備・充実を推進していきます。

#### 細施策の指標

| 指標                     | 説明                                                                            | 現状値(令和6年度) | 目標値(令和12年度) |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------------|-------------|
| 市立川越高等学校の生徒、保護者の満足度(%) | 生徒、保護者への学校評価アンケートにおける「入学して(させて)よかったと思っている」の設問において、「当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した人の割合 | 89.8       | 100         |



(トイレ)



(第1総合実践室)

## 施策の柱

### (3) 市立特別支援学校の充実

#### 細施策

##### ①市立特別支援学校の整備・充実

###### ■ 現状と課題

- 社会の一員として求められるスキルを、学校生活全般で学ぶことができるように、進路指導と学校生活の一体化を目指し指導を行っていますが、受検者数の減少が続いています。
- 本校の特色を明確にし、本校の良さを広く周知していく必要があります。また、教職員の特別支援教育に係る専門性を一層高め、社会の一員として求められるスキルを身につけられるような指導を目指す必要があります。

###### ■ 細施策の方向性

###### 担当課

###### 市立特別支援学校

- 市立特別支援学校の教育活動が円滑に進められるようにするために、教育環境の整備・充実に向けた支援体制の充実を図ります。
- 本校の特色を明確にし、学校説明会等で広く本校について周知します。合わせてホームページ等を活用して情報発信を行います。
- 卒業後の「ひとりだちする生徒」を目指し、社会の一員として求められるスキルを習得させるため、生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導が行えるように、教職員の専門性を向上させます。
- 特別支援学校のセンター的機能※を活用し、特別支援教育に係る情報発信等を行うことで、小・中学校との繋がりを深めます。

#### 細施策の指標

| 指標                   | 説明                                       | 現状値(令和6年度) | 目標値(令和12年度) |
|----------------------|------------------------------------------|------------|-------------|
| 本校へ入学したことについての満足度(%) | 保護者アンケートで「入学させてかなりよかった」「入学させてよかった」と答えた割合 | 97.6       | 100         |

※センター的機能：特別支援学校が教育上の高い専門性を生かし、地域の小・中学校の特別支援教育に関する指導や助言、相談等の中核的な役割を担うこと。

## ②市立特別支援学校のセンター的機能の充実

### ■ 現状と課題

- 小・中学校・市立川越高等学校に対して、児童生徒への支援方法や特別支援教育の理解等について指導・助言を行っています。また、市内幼稚園・保育園に通う保護者等も参加可能な研修も開催し、幼児や児童生徒の進路を保護者に考えてもらう機会を確保しています。
- センター的機能の活用は継続して行い、必要に応じて指導・助言を行える体制を整えておく必要がありますが、活用している学校は限られており、さらなる周知や組織体制の整備が必要です。

### ■ 細施策の方向性

#### 担当課

#### 教育センター・市立特別支援学校

- 特別支援教育コーディネーターがセンター的機能の充実に専念できる体制の整備を進めます。
- 小・中学校・市立川越高等学校の教職員がセンター的機能の活用のイメージを持てるような情報提供等の取組を進めます。

### 細施策の指標

| 指標                       | 説明                                            | 現状値(令和6年度) | 目標値(令和12年度) |
|--------------------------|-----------------------------------------------|------------|-------------|
| 市立特別支援学校のセンター的機能の活用状況(%) | 小・中学校・市立川越高等学校において、市立特別支援学校のセンター的機能を活用した学校の割合 | 49.1       | 80.0        |